

愛知県のテレワーク導入・定着支援策について（2021年度）

ワーク・ライフ・バランスの推進とともに、新しい生活様式に対応した働き方の一つであるテレワークの導入・定着を図るため、2021年3月に策定した「あいちテレワーク推進アクションプラン」に基づき、2023年度までの3年間で集中的な取組を実施する。

【プランの目標】

- ・中小企業のテレワーク導入率を30%とし、テレワークの導入と定着を図る。
- ・アフターコロナに向けて、更なるワーク・ライフ・バランスの推進を目指す。

1 テレワークサポートセンターの設置・運営

テレワークに関する相談、機器操作体験、情報提供等をワンストップで実施

- ・開設日：2021年4月28日
- ・開設場所：ツドイコ名駅東カンファレンスセンター内（名古屋市中村区名駅 3-21-7）
- ・対象者：企業、労働者 ・利用時間：平日9時～17時
- ・相談形式：対面（来所・Web）、電話、メール

【実績】相談件数823件（11月末現在）

（電話655件、来所153件、メール9件、オンライン6件）

- ・運営方法：委託（㈱パソナ） ・運営体制：総括責任者1名、相談員2名

2 ポータルサイト製作・運営（2021年5月17日運営開始）

ポータルサイトによる情報発信 [導入事例紹介、支援内容、助成制度の案内等]

3 テレワーク導入企業事例紹介

テレワークを導入している県内の中小企業を取材し、業種ごとの取組事例を紹介する動画を作成の上、ポータルサイトで公開する。（予定：10社 実績：6社（11月末時点））

4 アドバイザーの派遣

テレワークの導入を希望する県内の中小企業等を対象に、専門家をアドバイザーとして派遣し、企業の課題の洗い出し、導入に向けての助言等を実施する。

- ・派遣予定数：120回 [40社（1社あたり3回）]・派遣実績：延べ49回28社（11月末時点）

5 出張相談会

メッセナゴヤ（11/10～13）にブース出展し、テレワークに適した業務の選定、労務管理上のルールづくり、情報セキュリティ等導入に向けた課題解決のための個別相談とテレワークの業務体験を組み合わせた相談会を開催する。

6 サテライトオフィスの活用促進

(1) 有効活用企業調査・事例紹介

サテライトオフィスを有効活用している企業を調査し、有効活用事例を紹介する。

- ・調査件数：20件

(2) サテライトオフィス見学・体験会

企業の有効活用事例等を紹介する座学及びサテライトオフィスを見学し、そこでテレワークを実際に体験するセミナーを実施する。

- ・回数、規模：3回 [名古屋2回、三河1回]、各回20名
- ・対象者：中小企業の経営者や実務担当者

<実績（11月末現在）>

- ・9月29日：6名（会場（名古屋）4名、オンライン2名）
- ・10月29日：24名（会場（岡崎）17名、オンライン5名、オンデマンド2名）

7 テレワーク・スクールの開催

中小企業の経営者や実務担当者を対象に、テレワークの導入の活用のポイントやテレワークツールの実践的な使い方等を学ぶセミナーを開催する。

(1) 経営者向け（計画：2回 [名古屋2回]、各回20名）

<実績（11月末現在）>

- ・9月22日：10名（会場（名古屋）2名、オンライン5名、オンデマンド3名）
- ・10月12日：34名（会場（名古屋）20名、オンライン10名、オンデマンド4名）

(2) 実務担当者向け（計画：4回 [名古屋1回、三河3回]、各回20名）

<実績（11月末現在）>

- ・8月25日：15名（会場（名古屋）2名、オンライン10名、オンデマンド3名）
- ・11月17日：27名（会場（豊橋）9名、オンライン15名、オンデマンド3名）

8 テレワーク・モデルオフィスの設置・運営

テレワークの体験や県産木材を使用したテレワーク関連設備の展示などを行うモデルオフィスを開設し、県内企業が自ら環境整備に取り組むきっかけを提供する。

- ・開設日：2021年8月18日
- ・運営方法：委託（㈱パソナ）
- ・開設場所：ツドイコ名駅東カンファレンスセンター内（名古屋市中村区名駅 3-21-7）
- ・利用時間：平日9時～18時
- ・利用対象：中小企業の経営者や労働者
- ・主な機能：
 - ・テレワーク体験が可能な勤務環境を提供
 - 座席数12席、Wi-Fi・複写機・ロッカーを完備
 - ・ICT機器等に関する相談対応
 - ・県産木材等を使ったテレワーク関連設備の展示

【実績】利用件数（11月末現在）：554件（体験447名、見学107名）